



Date of Dispatch: April 26, 2004

NOTICE OF REJECTION

Patent Application No.: 92116346

Cited Documents:

1. TW Laid-Open Patent/Utility Publication No:200793
2. TW Laid-Open Patent/Utility Publication No:194002

經濟部知的財産局拒絶査定書

受 取 人・・・株式会社村上開明堂 殿 (代理人：洪 澄文)

住 所・・・台北市信義路4段279号3階

文書発行日・・・中華民國93(2004)年4月26日 ✓

文書の番付・・・(93)知專二(四)05076 字第 09320361370 号

1. 出願番号 ... 092116346

專利分類IPC(7): B60R 1/06, B29C 70/00

2. 発明の名称 ... ミラーベース

3. 出願人の氏名 ... 株式会社村上開明堂

住所 ... 日本国

4. 專利代理人の氏名 ... 洪 澄文

住所 ... 台北市信義路4段279号3階

5. 出 願 日 ... 中華民國92(2003)年6月17日

6. 優先権項目 ... 1 2002/07/29 日本2002-220008

7. 審査委員氏名 ... 許獻成 委員

8. 査定内容 ...

主文...本案は專利(特許)を付与すべきではない。

依拠...專利法第20条第2項。

理由...

- 一. 本願「ミラーベース」は、車両に対する取付片部と、この取付片部から突出してミラー本体を支持する支持片部とが樹脂により一体成形されて、前記取付片部および支持片部に跨って、その内部に補剛用の芯部材が埋設されていることを特徴としている。
- 二. 審査をしたところ、82(1993)年2月21日に公告された第200793号「自動車用バックミラー」(引用例1)のクレームに、車両のドア側に取り付けられる取付片部(本願の取付片部に相当するもの)と、該取付片部の下端から外部に突出したベース(本願の支持片部とミラーベースに相当するもの)とが樹脂により一体成形されていることが開示されている。また、81(1992)年11月1日公告第194002号(引用例2)のクレーム及び図2、5に示されるように、自転車のヘッドパイプを構成する5つのパイプ(またはヘッドパイプ)および車体パイプに跨ってその内部に連結部材が埋設されている。該連結部材と本願の補剛用の芯部材との技術特徴は同じである。故に、本願のミラーベースの取付片部及び支持片部が樹脂により一体成形される特徴は既に引用例1に見られ、一体成形の実施技術は既に引用例2に見られている。したがって、本願は引用例1の特徴に基いて、引用例2の技術を簡単に引用して当業者が容易に完成できるものであり、進歩性を有していない。

Top Team

冠群

三、上述により、本願は出願前の公知技術を応用し、当業者が容易に完成できるものであり、発明の要件に符合するとは言い難い。

以上結論すると、本願は法定の特許要件を満たしていないから、専利法第20条第2項の規定により、主文の通りに査定する。

局長 蔡 練生

もし本査定に不服であれば、本通知が送達された日から30日以内に、再審査理由書一式2部および規定料金新台幣ドル6,000元（特許明細書及び図面が合計50頁以上の場合は、50頁毎に500台湾ドルを追加するものとする。50頁以下のものは、50頁として計算する。）を添えて本局に再審査の請求をすることができる。

經濟部智慧財產局專利核駁審定書

受文者：村上開明堂股份有限公司（代理人：洪澄文 先生）

地址：臺北市大安區信義路四段二七九號三樓

發文日期：中華民國九十三年四月二十六日

發文字號：（九三）智專二（四）05076字

第〇九三二〇三六一三七〇號



專利分類IPC(7)……B60R 1/06, B29C 70/00

一、申請案號數：〇九二一一六三四六

二、發明名稱：鏡座

三、申請人：

名稱：村上開明堂股份有限公司

地址：日本

四、專利代理人：

姓名：洪澄文 先生

地址：臺北市大安區信義路四段二七九號三樓

五、申請日期：九十二年六月十七日

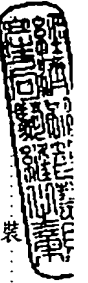
六、優先權項目：1 2002/07/29 日本2002-220008

七、審查人員姓名：許獻成 委員

裝

訂

線



裝

訂

線

八、審定內容：

主文：本案應不予專利。

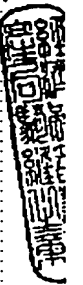
依據：專利法第二十條第二項。

理由：

(一) 本案「鏡座」包括：一固設部，用以連接至一車體；以及一支撐部，由固設部突出且用以支撐一鏡身，固設部與支撐部以樹脂一體成形；其特徵在於：一強化中心構件埋設橫跨於固設部及支撐部內。

(二) 查八十二年二月二十一日公告第二〇〇七九三號專利案「車用後視鏡」（引證附件一），該附件之申請專利範圍揭示其安裝於車門側之安裝支板（即本案之固設部）及由該安裝支板下端向外面突出之底座（即本案之支撐部及鏡座）亦以樹脂一體成形；再查八十二年十一月一日公告第一九四〇〇二號專利案（引證附件二），如該附件之申請專利範圍及圖式第二、五圖所示，該五通管（或前車管）與車管內，該連接體構件與本案強化中心構件連接體亦埋設橫跨於五通管（或前車管）與車管內，該連接體構件與本案強化中心構件之技術特徵相同。據上，本案鏡座之固設部與支撐部以樹脂一體成形之特徵已見於引證附件一，而其予以一體成形之實施技術，則可見於引證附件二；本案依據引證附件一之特徵，簡單引用引證附件二之技術，為熟習該項技術者所能輕易完成，不具進步性。

(三) 綜上所述，本案係運用申請前既有技術，而為熟習該項技術者所能輕易完成者，難謂符



合發明專利要件。

據上論結，本案不符法定專利要件，爰依專利法第二十條第二項，審定如主文。

局長
蔡練生

依照分層負責規定授權單位主管決行

如不服本審定，得於文到之次日起三十日內，備具再審查理由書一式二份及規費新台幣陸仟元整（專利說明書及圖式合計在五十頁以上者，每五十頁加收新台幣五百元，其不足五十頁者以五十頁計），向本局申請再審查。